※令和４年度以降入学生用

学校番号	1203

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「歴史総合　新訂版　むすびつく世界と日本」（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・資料を活用し、世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉える力を養いたい。

・近現代の歴史を学び、現代的な諸課題を多角的に考察する力を養いたい。

・歴史的事象を範として現在を生きる「私」が抱える課題を主体的かつ反省的に振り返る態度が求められる。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・歴史的諸事象に関して、資料を用いながら、体系的かつ多面的・多角的に理解することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・歴史的事象への学びを通して現代世界における諸課題を多角的に考察し、その考察した内容を表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性】
・歴史的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる公民としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・近現代の歴史的事象を、時間軸・空間軸を縦断、横断するような多角的なパースペクティブを養うことができている。 ・歴史的事象への認識を深めるために、諸資料を活用することができている。	・近現代の歴史的事象への考察を通して、地域やその時代の特色をつかむことができている。 ・地域や時代の歴史的事象の特色について、調べ学習や班活動などを通して考察し、表現することができている。	・様々な地域や時代の歴史的事象に触れることで、自らの理解や価値観の変化を自己評価し、意欲的に学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、 それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	近代への胎動	１．イントロダクション ２．１６Ｃの国際情勢 ３．江戸幕府：前期幕政 ４．江戸幕府：改革期	a:16C の国際情勢や江戸幕府の前期・改革期について理解している。 b:主権国家体制の確立やその時期の日本の動向について考察している。 c：日本と諸外国の交流の在り方を歴史的パースペクティブから捉えようとする。	プリント 内語句の記述	プリント 内表現の記述	振り返りシート 授業態度

※令和４年度以降入学生用

	市民革命の時代	１．イギリス：市民革命 ２．イギリス：産業革命 ３．アメリカ：独立と内線 ４．フランス：市民革命	a:市民革命について多角的に理解を深めている。 b:諸地域の比較から市民社会の成り立ちについて考察している。 c:市民革命の学びから現代社会を批判的に捉えようとしている。	プリント内語句の記述	プリント内表現の記述	振り返りシート 授業態度
２学期	国民国家の形成	１．ナポレオンの衝撃 ２．ウィーン体制の崩壊 ３．アヘン戦争の衝撃 ４．江戸幕府：開国と終焉 ５．明治政府の諸改革	a:国民国家の成り立ちについて諸資料を用いながら理解を深める。 b：国民国家の成り立ちを地域ごとに比較しながら考察することができている。 c:現今の国民国家体制の在り方に関心を持ち、主体的に捉えようとする。	プリント内語句の記述	プリント内表現の記述	振り返りシート 授業態度
	帝国主義の時代	１．帝国主義の伸張 ２．ビスマルク体制 ３．第一次世界大戦 ４．日清戦争、日露戦争	a:帝国主義の伸張のメカニズムへの理解を深めている。 b:帝国主義の伸張を諸地域の立場に立って考察している。 c:帝国主義の在り方に関心をもって様々な視点から考えようとしている。	プリント内語句の記述	プリント内表現の記述	振り返りシート 授業態度
３学期	第二次世界大戦とその後の世界	１．戦間期の動向 ２．第二次世界大戦 ３．第二次世界大戦後の世界と日本	a:20 世紀の日本や世界の在り方について理解している。 b:第二次世界大戦前後の日本や世界の在り方を多面的多角的に考察している。 c:歴史的事象を振り返りながら、現代社会への関心を深めている。	プリント内語句の記述	プリント内表現の記述	振り返りシート 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度